

## グレゴリー・ケイ氏

関西アメリカンセンター館長

経済、文化、テクノロジー、エンターテインメントなどあらゆるジャンルで世界をリードするアメリカ。日本との関係の深さは、あらためて言うまでもありません。おりしも日米安保条約締結50年を迎える今年、アメリカの情報を発信する関西アメリカンセンターの館長グレゴリー・ケイ氏にお話を伺いました。



## 多彩な魅力あふれる関西

今年7月に大阪に赴任しました。夏の甲子園の熱狂が、関西での第一印象ですね。始球式と第1試合を見たのですが、人々のスポーツへの愛着にとっても感銘を受けました。大阪に来るまでに1年ほど日本語研修のため横浜に滞在していましたが、大阪に赴任が決まると同僚にうらやましがられましたね。食べ物はおいしく、人はフレンドリー、見どころもいっぱい、と。実際、大阪や神戸の現代性と京都や奈良の歴史的エリアの対比は、とても印象的です。平城遷都1300年祭にも行きましたが、歴史あるものを大切に、保存や修復に注力する姿勢は素晴らしいと思います。着任して日が浅く、伝統芸能などはまだあまり見ていないのですが、大阪にいたる間にできるかぎりたくさん見たいと思っています。宝塚歌劇も興味深いですね。

アメリカ人にとって、日本は今やそれほど遠い存在ではなくなりました。日本食はすっかり定着し、今ではアメリカのどこでも、一例えば両親の住むヒューストン郊外でも一手に入ります。アニメやマンガ、映画やテレビを通じて、日本はぐっと近いものになっています。私もウルトラマンを観て育ったんですよ。

## Tell America's Story to the World —世界にアメリカを語る

アメリカンセンターのミッションは、世界の人々にアメリカの姿を伝えること。政治、経済、社会、文化など多方面にわたってアメリカを知ってもらうため、各種イベントやライブラリー運営、人材交流など多岐にわたるプログラムを展開しています。先日はソーシャルメディアの第一人者アリ・ウォラック氏の講演会を開催しました。彼は先の大統領選挙でオバマ陣営のブレーンとして、フェイスブックなど新しいソーシャルメディアをフル活用し、オバマ氏を勝利に導いた立役者です。ソーシャルメディアは文化や教育においても重要な役割を果たしており、今もっとも注目すべきトレンドだといえるでしょう。テクノロジーは文化の推進力でもあります。

## グレゴリー・ケイ (Gregory W. Kay) 氏

駐大阪・神戸アメリカ総領事館広報担当領事 兼 関西アメリカンセンター館長。1963年、テキサス州ヒューストン生まれ。1990年、国務省入省。ウィーン(オーストリア)、テルアビブ(イスラエル)ほか欧州各地の大使館及びワシントンD.C.、ニューヨークにおいて情報技術、広

報関連の職務に従事。2010年7月より現職。仏・独・アルバニア語に堪能。趣味はフェイスブック・読書・旅行・写真。



## Melting Pot—ダイナミズムの原動力

アメリカは国家としては新しい国ですが、それだけに過去を知ることが大切なことだと考えています。全米から学生や旅行者など多くの人が訪れるスミソニアン博物館など主要な施設は、政府の補助により入場が無料です。こうして自分たちの歴史や文化について知る機会を提供しているのです。

アメリカが世界をリードしているとすれば、それはアメリカ社会の多様性のゆえでしょう。アメリカは移民の国。世界のあちこちからやってきた人たちがもたらした多種多様な文化が混ざりあい、変化し、新しいものが生み出されていく、いわば世界中の人々のコラボレーションなのです。ノーベル化学賞を受賞した2人の日本人化学者が、ともにアメリカの大学で研究歴をもつということは、私にとっても嬉しいことです。世界中から人が集まり、出会い、混ざりあう。まさに「melting pot」であることが、アメリカのダイナミズムの源泉だと思います。



大阪北区・アメリカ総領事館にて